

南ア月報
(2022年5月)

【内政】

- ステーンファイセン DA 党首のウクライナ訪問
- 新型コロナウイルス感染拡大防止等に係る法的規制の変更

【外政】

- BRICS 外相会合
- ショルツ独首相の南ア訪問
- 南ア・エジプト二国間委員会の実施

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- 失業率

<出来事>

- 南ア準備銀行 (SARB) が政策金利を 4.75% に引上げ
- S&P 社が南ア格付け見通しを「ポジティブ」に引上げ
- 南アにおける COVID-19 の治療にイベルメクチンが使用不可に
- 南ア政府、海外渡航者向けの検証可能なワクチン接種証明書の要件を明確化

【警備】

- 南ア治安情勢 (邦人に対する銃撃事件の発生)

1 内政

●ステーンファイセン DA 党首のウクライナ訪問

5 月初旬、ステーンファイセン党 DA 党首は、ウクライナの現状を視察するため、同国を訪問した。

●新型コロナウイルス感染拡大防止等に係る法的規制の変更

4 日、南ア保健省は、保健法に基づく規制案が施行されるまでの間の対応として、マスク着用、集会の規制等、限定的な規制を施行する旨を発表した。

2 外政

●BRICS 外相会合

19 日、パンドール大臣は「BRICS の連帯と協力強化、国際情勢に係る新たな事項や課題への対応」と題されて第 5 回 BRICS 外相会合及び BRICS 加盟国以外の 9 カ国の外相も招待されて開催された「BRICS プラス外相会合対話」にオンラインで出席した。

●ショルツ独首相の南ア訪問

24 日、ショルツ独首相が南アを訪問した。ラマポーザ大統領とショルツ首相は、気候変動、ウクライナ情勢、アフリカ大陸における平和と安全を含む幅広いトピックにつき議論した。また同首相一行は SASOL 社を訪問し、グリーンテクノロジーの開発に関する独・SASOL 社間の共同研究の始動が発表された。

●南ア・エジプト二国間委員会の実施

25 日、パンドール大臣はカイロで開催された第 9 回南ア・エジプト共同委員会に出席した。同委員会では、既存の協力分野のさらなる強化及び新たな協力分野の開拓に向けた意見交換がなされ、また、両国外相により宇宙協力協定が新たに署名された。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価

2022 年 4 月の年間消費者物価インフレーション率は 5.9%で前月（5.9%）から横ばい。消費者物価指数（CPI）は前月から 0.6%上昇した。（南ア統計局、5 月 18 日）

●為替レート

2022 年 5 月 31 日付（南ア準備銀行）

8.2162 ランド/円

15.5455 ランド/米ドル

16.7021 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2022 年 3 月の製造業は、前年同月比 0.8%減。主なマイナス要因は、自動車及び輸送機器関連製品で 11.3%減。食料品及び飲料で 2.6%減。

また過去3ヶ月（2022年1月～2022年3月）の季節調節後生産高は2022年10月～12月の3ヶ月から4.7%増。製造業10部門中の7つの部門で生産高増となった。（南ア統計局、5月12日）

●鉱業生産高

2022年3月の鉱業生産高は、前年同月比9.3%減。主なマイナス要因は、金で25.6%減、鉄鉱石で24.4%減、マンガン鉱石で19.8%減、白金で8.2%減。

また過去3ヶ月（2022年1月～2022年3月）の季節調節後生産高は2021年10月～12月の3ヶ月から1.7%減となった。（南ア統計局、5月12日）

●失業率

南ア統計局は2022年第1四半期の失業率と発表。今期失業率は34.5%となり、前期（2021年第4四半期）の失業率（35.3%）から0.8%改善した。ただし依然として高水準であり、2008年の当局統計開始以降で3番目に高い数値となった。生産年齢人口（15歳から64歳）に占める就業率は37.3%（前期比+0.8%）となった。

なお、2020年3月、南ア統計局はパンデミックの影響で対面インタビューを中止し、電話インタビューに切り替えていた。電話インタビューに切り替えたことにより回答者数は激減し、南アの雇用データの信頼性に対する懸念が専門家から指摘されていた。今回の調査では、雇用データの収集は、主に対面インタビューによって行われ、回答率が改善されたと統計局は発表した。（南ア統計局、5月31日）

<出来事>

●南ア準備銀行（SARB）が政策金利を4.75%に引上げ

5月20日、南ア準備銀行は、金融政策決定会合を開き、前回時（今年3月）に続けて、本会合においても利上げを決定した。昨年11月の会合以来、4会合連続での利上げとなった。また、0.50ポイントの引上げは、2016年以来約6年振り。政策金利は、これまでの4.25%から0.50ポイント引き上げて、5月20日から4.75%となった。

Kganyago 総裁は、中国のCOVID-19拡大への新たな対応策及び露によるウクライナへの持続的な侵攻が世界経済の成長に大きな重荷となり、インフレ上昇に繋がっていることを指摘した。原油価格は今年もさらに上方修正され、燃料価格インフレ率は31.2%（前回会合時26.1%、前々回会合時13.7%）と高くなっている。

●S&P社が南ア格付け見通しを「ポジティブ」に引上げ

5月20日、米信用格付け機関のS&Pは、南アの格付け見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引上げた。多分に、南アの税収と輸出を押し上げている強い商品価格（strong commodity prices）のお陰で、また、民間発電の許可やブロードバンドスペクトルのオークションなどの改革をとおして、南アの財政状態が改善していることが引上げの主な理由。他方で、外貨建て及び現地通貨建て格付けはそれぞれ「BB-」、「BB」で据え置いた。

●南アにおけるCOVID-19の治療にイベルメクチンが使用不可に

南ア医療製品規制庁（SAHPRA）は、5月30日、抗寄生虫薬イベルメクチンがCOVID-

19の治療に役立つという信頼できる証拠はないとし、コンパッショネート・ユース（当館注：未承認薬を人道的配慮によって患者に使用する制度）アクセスプログラムを直ちに終了させると発表した。当局は、世間の関心と不正なイベルメクチンが市場に出回ったという報告の中で、昨年1月にその使用を許可していた。今後南アでは、未登録のイベルメクチン製剤の輸入は認められず、医療機関も処方箋を見込んで大量の在庫を保有することはできなくなる。

●南ア政府、海外渡航者向けの検証可能なワクチン接種証明書の要件を明確化

政府は、入国時に旅行者に不便をかけることなく、円滑かつ公正な検証プロセスを確保するため、5月27日より、紙ベースまたは電子ベースのQRコード付きの検証可能なすべてのワクチン接種証明書を認めることとした。証明書/カードに記載されている内容は、パスポートに記載されている渡航者の情報と一致する必要がある。ただし、ワクチン接種証明書やカードが確認できない場合、保健省職員が駐南ア各国大使館に問い合わせ、各国で発行されたワクチン接種証明書の種類を確認する権利を有する。

4 警備

●南ア治安情勢（邦人に対する銃撃事件の発生）

5月17日午後6時過ぎ、邦人が、車で勤務先からプレトリア市内の自宅に帰宅し、ゲートが開くのを待っていたところ、後方を塞ぐ形で停車した車の中から降りてきた男に拳銃を発砲される事件が発生した。邦人の他、当該住居に配置されていた警備員も発砲を受けたが、いずれも身体に被害はなかった。

目的は定かでないが、強盗目的と推察されるため、以下の点に留意し安全対策を講じる必要がある。

- ・空港、買い物先、勤務先などいずれの場所からであっても、帰宅する際は追尾車両に警戒し、随時バックミラーやサイドミラーなどを活用し後方を中心に周囲の状況を確認する。
- ・帰宅約5分前からは、最大限に警戒し、追尾車両がないか、自宅周辺に不審車両（不審者）がないかなど十分確認する。
- ・自身で自宅ゲートを開閉する住居の場合、帰宅時は道路と並行に車を停車してからゲートの開放操作を行う。ゲートに垂直に停車した場合、後方を車で塞がれた際にゲートと後方の車の間で身動きがとれなくなるため、並行に駐車して前や左右など退路を確保する。ゲートが開けば素早く進入し、後続車両が敷地に入れない位置で停車し、ゲートを閉鎖する。
- ・追尾の可能性がある場合、慌てて自宅に入らず一旦通過し、警察署、警備員のいる商業施設やガソリンスタンドなど安全が確保できる場所まで移動する。閑散とした道路の場合は、一旦大通りまで出る。警察や契約警備会社などに通報し応援を求める。
- ・現金出金後、高額商品を購入した後などは特に警戒する。
- ・高級貴金属など標的になりそうな服飾は控える。
- ・万一、被害に遭った場合は抵抗せず命を守ることを優先する。